

「さざなみホールの新たな活用について」ワークショップ 結果報告

日 時	令和7年8月24日（日）13:30～15:00
場 所	コミュニティセンターなかさと 大ホール
出席者	（参加者）24名 （事務局）市長、政策調整部政策監、やす未来創造課長、やす未来創造課員
議 題	「さざなみホールの新たな活用について」ワークショップ
概 要	さざなみホールの施設概要及び閉館に至った経緯等について説明を行い、さざなみホールをどのような活用をすれば楽しめる空間になるかについてワークショップを行った。

●参加者 ○事務局

<開会>

○開会挨拶

さざなみホールの新たな活用について、市民の皆さまのご意見を伺いたく開催させていただいた。かつて野洲市には、文化施設が3拠点あり、人口減少などを踏まえて、集約をする結論を出し進めてきました。昨年の閉館により文化ホールとしての機能は失われましたが、建物を活用して別の行政課題解決に繋がれるのではないかと思います、検討しています。

検討を進めるにあたっては、実際に使っていただく市民の皆さまと一緒に考えていきたいと思います。そのため、本日は自由に幅広い意見をいただきたいと考えていますのでよろしくお願いします。

「さざなみホールの新たな活用について」ワークショップ

<資料説明>：野洲市

<ワークショップにおける意見（アイデア） ※一部抜粋>

地元（地域）住民向け

- スポーツジムなどのスポーツ施設（ランニング、ロッククライム等）
- 図書館や子どもたちが勉学に励める場所
- 入浴施設
- 各種教室の開催（絵画教室、卓球教室、音楽レッスン教室など）
- キャンプスペース
- ホール機能を活用して各種団体が練習や発表が場所できる場所
- 子育てに関する設備（屋内外への子ども向け遊具の設置など）
- スーパーマーケットやコンビニの商業施設
- 店舗等に活用できるよう部屋の貸出
- レストランやカフェなどの飲食関連施設（地元食材の活用など）
- 高齢者が集まれる場所
- 映画が鑑賞できる場所
- 地域のお祭り開催や行いを展示する場
- 屋根付きベンチの配置

市外在住者向け

- 美術館、博物館、科学館などの文化的施設
- 道の駅、農産物や市内名産品等の物産販売所
- 音楽関係での発表などの場として利用
- 日帰り温浴施設や屋外サウナ施設
- 団体の合宿所としての利用
- 小さなテーマパーク（お化け屋敷やミラーハウスなど）
- プラネタリウムや星を見られる癒し空間

- フリーマーケットやマルシェが開催できるイベント広場
- 農業と工業が連携した施設
- 企業誘致

その他

- ドクターヘリ拠点などの緊急時での活用
- 広い駐車場を活かしてサイクリングの中継拠点など自転車が来られる施設
- さざなみホールの活用によって循環バスの増便

<総括>

- 特定の用途ではなく、様々なことに活用でき、幅広い年代が楽しめるような魅力ある建物になればと考えています。今回、幅広い様々なご意見をいただき、新たな発見もありました。今後とも意見を伺いながら進めていきたいと思っています。

<閉会>